SAP BusinessObjects™

Xcelsius 2008 SP3 の新機能

■ Xcelsius 2008 SP3

2009-11-17

SAP

著作権

© 2009 SAP AG. All rights reserved.SAP、R/3、SAP NetWeaver、Duet、PartnerEdge、ByDesign、SAP Business ByDesign、および本書に記載されたその他のSAP製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々におけるSAP AGの商標または登録商標です。Business ObjectsおよびBusiness Objectsロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Decisions、Web Intelligence、Xcelsius、および本書で引用されているその他のBusiness Objects製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、米国およびその他の国々におけるBusiness Objects S.A.の商標または登録商標です。Business ObjectsはSAPのグループ企業です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書はSAP AGおよびその関連会社（「SAPグループ」）が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAPグループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAPグループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

2009-11-17

目次

第 1 章 SAP BusinessObjects Xcelsius 2008 Service Pack 3 へようこそ.....5

第 2 章 サポートされている製品.....7

第 3 章 新しいコンポーネント.....9

ビュレット チャート コンポーネント.....9
キャンバス コンテナ コンポーネント.....9
プッシュ ボタン コンポーネント.....10
スコアカード セレクタ コンポーネント.....10
スパークライン チャート コンポーネント.....10

第 4 章 新機能.....11

チャート データ ラベル.....11
チャートの範囲スライダ.....11
チャートの並べ替え.....12
実行時の系列の表示/非表示.....12
動的な色の設定.....13
デフォルト シナリオのロード.....14
複数のインジケータをサポートするゲージ.....14
予測.....14
セレクタが複数の挿入動作を許可する 15

付録 A より詳しい情報.....17

SAP BusinessObjects Xcelsius 2008 Service Pack 3 へようこそ

SAP BusinessObjects Xcelsius SP3

このドキュメントでは、SAP BusinessObjects Xcelsius 2008 Service Pack 3 で使用可能な新しい機能と拡張機能について説明し、新しい機能を使い始める際に役立つ製品マニュアルを紹介します。

以前のリリースの新機能については、サポート Web サイト(http://help.sap.com)をご覧ください。

Xcelsius 2008 はデータをビジュアル化するソフトウェアで、ダッシュボードとして使用したり、他のダッシュボードに含めたり、PDF、Microsoft Outlook、Web ページなどで配布できる動的かつ対話型のモデルを作成できます。

このソフトウェアのビジュアル インターフェースまたはワークスペースには、すべての機能を備えた Microsoft Excel スプレッドシートが含まれています。データと式は、埋め込みスプレッドシートにインポートまたは直接入力し、必要に応じてスプレッドシートを再インポートせずに変更することができます。データを外部データ ソースにリンクして、最新の情報がモデルで表示されるようにすることもできます。

Xcelsius 2008 は 4 つの版で使用できます。

- Xcelsius Present により、ユーザーは Microsoft Excel データを使用してモデルを作成できます。
- Xcelsius Engage により、ユーザーは、モデルを作成して単一の外部データ ソースへそのモデルを接続することができます。
- Xcelsius Engage Server により、ユーザーは、モデルを作成し、それを複数の外部データ ソースに接続して、ポータル環境に展開することができます。
- Xcelsius Enterprise により、モデルを作成し、それを SAP BusinessObjects Enterprise または SAP NetWeaver BW 環境に展開することができます。

サポートされている製品

サポートされているプラットフォーム、データベース、およびアプリケーション サーバーの一覧については、https://www.sdn.sap.com/irj/boc/articles から入手できる『SAP BusinessObjects Xcelsius 2008 Supported Platforms 』を参照してください。

開発者用コンポーネント

Xcelsius 2008 Service Pack 3 をインストールする場合は、Xcelsius 2008 コンポーネント ソフトウェア開発キット(SDK) をインストールするオプションもあります。ソフトウェア開発キット(SDK)のインストールに関する詳細については、『SAP BusinessObjects Xcelsius 2008 インストール ガイド 』を参照してください。

サポートされるサードパーティ製品

さまざまなモデル コンポーネントおよび機能拡張が Xcelsius 2008 で使用可能です。(アドオンと呼ばれる)これらの項目は、SAP BusinesssObjects パートナーおよびカスタマーによって作成され、Information OnDemand から有料または無料で利用できます。サポートされているサードパーティ製品の最新の一覧については、SAP BusinessObjects Information OnDemand ポータルにログインしてください。

1. ブラウザで http://www.information.ondemand.com にアクセスします。
2. [Community]タブをクリックします。
3. [Job Functions]一覧で[Xcelsius Add-Ons]を選択します。

新しいコンポーネント

ビュレット チャート コンポーネント

Stephan Few によって設計されたものと類似した棒チャートを作成するために、2 種類の新しいチャートが使用可能です。

新しいコンポーネントである[水平ビュレット チャート]と[垂直ビュレット チャート]によって、凝縮された、散漫にならない形式でデータを表示する手法が提供されます。

ビュレット チャート コンポーネントには、垂直または水平棒として表示される 1 つの主測度(たとえば過去 1 年間の収益)があります。マーカーは、目標またはパフォーマンス目標を示し、棒の背後にある色調が変化している部分はパフォーマンスの定性的な範囲を示します(不足、十分、良好など)。

設計者は複数の系列を表示するのにビュレット チャートを設定することができ、目盛、軸を系列ごとに設定できます。たとえば、チャートで、収益を千ドル単位で、利益をドル単位で、発注量を個数で表示することができます。

キャンバス コンテナ コンポーネント

非表示のコンテナを作成するために新しいコンテナ コンポーネントが使用できます。

新しい[キャンバス]コンテナ コンポーネントは、[パネル]コンテナ コンポーネントと似ていますが、背景、境界、ヘッダー バーなどの図形要素がありません。

設計モードでは、設計者がコンポーネントで作業できるようにコンテナは表示されますが、モデルの実行時に、コンテナは非表示になるので、コンテナ内のコンポーネントは自由に動くものとして表示されます。[キャンバス]コンテナ内のコンポーネントがコンテナの境界を超える場合、スクロール バーが追加されます。

プッシュ ボタン コンポーネント

新規セレクタ コンポーネントにより、ユーザーは、モデル全体の値を設定することなく単一値コンポーネントをデフォルト値に復元することができます。

新規プッシュ ボタン コンポーネントは、ボタンが押されたときに 1 つ以上のセルの値を特定の値に設定するように設定できます。ユーザーがボタンを押したときのみに値が変更されるので、データが出力先のセルにコピーされるときに制御の幅が広がります。

スコアカード セレクタ コンポーネント

新規セレクタ コンポーネントは、グリッド内のビジュアル アラートを表示することができる新規セレクタ コンポーネントを使用できます。実行時に、ユーザーは列ヘッダーをクリックして、列のデータにあるグリッドを並べ替えることができます。

新しい[スコアカード]セレクタ コンポーネントは、[リスト ビュー]セレクタ コンポーネントと似ていますが、列内のアラートを有効にし設定するオプションと、ユーザーが実行時に列を並べ替えることができるようになるヘッダーを追加するオプションが含まれています。

アラート レベルは、セル背景色、フォント色、またはアラート アイコンと共に表示され、値が含まれている場合と含まれていない場合があります。

スパークライン チャート コンポーネント

株式市場の動向など、特定の測定に関する傾向や変動を示す、コンパクトなデータ集約型グラフを作成できる新しいチャートを利用することができます。

新しいスパークライン チャートは、Edward Tufte 氏が作成したスパークライン チャートに基づいて、緻密でスペースをとらずに、数値データを一次元の範囲にわかりやすく表示する方法を提供します。

設計者は、スパークライン チャートのマーカーとして表示されるキー データ ポイント(開始値、終了値、高い値、低い値)を設定することができます。またチャートの背後にある色付き背景で表示する通常の範囲を定義することもできます。

新機能

チャート データ ラベル

チャートマーカー上またはその周囲にデータラベルを重ね合わせるための新規オプションを使用できます。

チャートコンポーネントの[プロパティ]パネルは、[表示] > [テキスト]タブの[データ ラベル]オプションに含まれています。選択される際に、データ ラベルがチャート マーカーで表示可能になります。設計者が系列によって表示させたくないデータラベルがある場合、[データ ラベル]リストを展開して系列を選択解除します。

設計者はラベルの値、ラベルの位置、および該当する場合リーダー線を追加することができます。ラベル設定で使用可能なオプションは、チャートのタイプによって変わります。

チャートの範囲スライダ

多くのチャートコンポーネントに対して、範囲スライダを追加して、チャート全体を同時に表示する代わりに、特定のデータ セットにユーザーが焦点を当てることができるようになります。

[チャートのプロパティ]パネルの[動作] > [一般]タブで、新しい[スライダ範囲を有効にする]オプションが次のチャートで使用できます。

- 折れ線チャート
- 棒チャート
- 積み上げ棒チャート
- 縦棒チャート
- 積み上げ縦棒チャート
- ローソク足チャート
- 組み合わせチャート
- OHLC チャート
- 面チャート
- 積み上げ面チャート

[スライダ範囲を有効にする]オプションが選択される際に、設計者はスライダの開始および終了範囲を指定して、範囲ラベルを設定することができます。

実行時に、範囲スライダがチャートの下部または左(棒チャートの場合)に表示され、チャートに表示されるデータ範囲をユーザーが選択できるようになります。範囲スライダのいずれかの側にあるコントロール ハンドルを調整することで、範囲のサイズをユーザーが変更できます。

チャートの並べ替え

チャート プロパティ パネルにある新しい[並び替えを有効にする]オプション([動作]>[一般])により、設計者は、単一系列または複数の系列について、チャート データをデータ値またはカテゴリ ラベルによって並べ替えることができます。

[並び替えを有効にする]オプションは、以下のチャートで使用できます。

- 折れ線チャート
- 円チャート
- 縦棒チャート
- 積み上げ縦棒チャート
- 棒チャート
- 積み上げ棒チャート
- 組み合わせチャート
- 面チャート
- 積み上げ面チャート
- レーダー チャート
- 塗りつぶしレーダー チャート

設計者がチャートの[プロパティ]パネルで[並び替えを有効にする]オプションを選択した場合、チャートをデータで並べ替えるのか、カテゴリラベルで並べ替えるのかを選択することができます。チャートに複数のデータ系列があり、データによる並べ替えを選択した場合、設計者は並べ替えるデータ系列を選択することもできます。

実行時の系列の表示/非表示

凡例が有効になると、新規チャートプロパティ[実行時にチャートの系列の表示/非表示を有効にする]を利用することができます。プロパティが選択されるときに、ユーザーはチャートに表示する系列を選択できます。

[実行時にチャートの系列の表示/非表示を有効にする]オプションは、以下のチャートで使用可能です。

- 折れ線

- 列
- 積み上げ縦棒
- 棒チャート
- 積み上げ棒
- 組み合わせ
- 面
- 積み上げ面
- レーダー
- 塗りつぶしレーダー
- バブル
- XY
- ツリー マップ

[表示]>[レイアウト]タブで、[凡例を有効にする]を選択すると、設計者は[実行時にチャートの系列の表示/非表示を有効にする]オプションを選択することができます。選択された場合、実行時にユーザーはチェックボックスの選択を解除したり、凡例の系列名をクリックして、チャート表示から系列を削除したりすることができます。

動的な色の設定

色値をスプレッドシート内のセルにバインドして、コンポーネント エレメント内の色を動的に制御できます。

すべてのコンポーネント エレメントに対して、[カラー]セレクタ ダイアログ ボックスに[色に連結]オプションが追加されます。このオプションを使用して、スプレッドシート内のセルを色値として選択できます。そのエレメントの色は、選択されたセルの値を反映します。次に、セルと別のコンポーネントや外部データ ソースをリンクさせて、実行時に色値を動的に設定することができるようになります。色がスプレッドシートにバインドされるときに、[色]タブの[色セレクタ]タブが新しいバインドアイコン( )に置き換えられます。

次の色形式がサポートされています。

- 16 進数(たとえば FFFFFF、#FFFFFF、0xFFFFFFなど。大文字小文字の区別なし)
- RGB(たとえば、(255,255,255))
- VGA 色名(aqua、blue、black、fuchsia など。大文字小文字の区別なし)
- 10 進数の色コード(たとえば、F00FF は 16711935)

注
指定されたセルが空白が無効な値が含まれている場合、エレメントの色は黒に設定されます。

デフォルト シナリオのロード

[ローカル シナリオ]ボタン コンポーネントにより、ユーザーはデフォルト シナリオの作成とロードが可能になりました。

新しいデフォルト シナリオ オプションにより、ユーザーは、SWF のロード時にモデルを特定のステータスに設定することができるようになります。

デザイナが[ローカル シナリオ ボタン]コンポーネントをモデルに含めると、実行時に、ボタンをクリックして定義して、シナリオを保存することができます。ユーザーは、[規定値に設定]オプションをクリックして、デフォルトでそのシナリオをロードします。次回モデルが開くと、指定されたシナリオが自動的にロードされます。

注
デフォルト シナリオは、そのシナリオが定義されているコンピュータ(つまりローカル コンピュータ)のローカル シナリオに対してのみ有効です。

複数のインジケータをサポートするゲージ

設計者は、複数のインジケータを表示するようにゲージを設定することができ、またはインジケータ タイプを針、外部マーカー、または内部マーカーに設定できます。

設計者がゲージを複数のスプレッドシート セルにバインドする際に、ゲージが各セルのインジケータを示します。ここで設計者は、各インジケータのインジケータ タイプ、ラベル、およびラベル位置を設定することができます。

注
ゲージに複数のインジケータがある場合、これは出力コンポーネントのみです。[対話操作を有効にする]オプションは、[動作] > [一般] タブで使用できず、ユーザーは実行時にゲージ値を処理できません。

予測

トレンド アナライザ コンポーネントは、既存データにある傾向に基づいて特定の期間のデータを予測するように設定できます。

設計者は、[トレンド アナライザ]コンポーネントを、履歴データと予測データ用の空のセルを含む範囲にバインドすることができます。実行時に、トレンド アナライザは傾向データと予測データを指定されたセルに挿入します。

また設計者は、トレンド アナライザが予測する予測期間の数を指定できます。予測期間の数を動的に設定するには、設計者が[予測期間数」ボックスをスプレッドシート セ

ルにバインドして、次にダイヤルを同じセルにバインドすることができます。実行時に、ユーザーはダイヤルを操作して予測期間の数を設定します。

セレクタが複数の挿入動作を許可する

多くのセレクタは、さまざまなソースから複数のデータ チャンクを複数の出力先に同時に挿入するように設定できます。

セレクタ プロパティ パネルの[一般]タブで、[データ挿入]リスト ボックスを使用できます。デフォルトで、リスト ボックスには 1 つの挿入動作が含まれています。設計者はプラス アイコンをクリックしてさらに多くの挿入動作を追加することができます。次に、設計者は各挿入動作を選択し、その名前、挿入タイプ、ソース データ、および出力先を指定します。実行時に、ユーザーがセレクタを使用する際に、すべての定義済挿入動作のソース データ値が指定された出力先に書き込まれます。

プレイ セレクタ、表示切り替えボタン、プッシュ ボタン、アイコン、またはアコーディオン メニュー コンポーネントのセレクタは、複数の交差をサポートしません。

注
セレクタが複数のデータを挿入するように設定されている場合[フィルタされた行]交差タイプはサポートされていません。[フィルタされた行]が[挿入タイプ]として選択された場合、複数の挿入動作を追加することはできず、複数の挿入動作が定義された場合、挿入タイプとして[フィルタされた行]を選択できません。

より詳しい情報

情報リソース	場所
SAP BusinessObjects 製品情報	http://www.sap.com
SAP ヘルプ ポータル	http://help.sap.com から SAP BusinessObjects を選択します。 SAP ヘルプ ポータルでは、すべての SAP BusinessObjects 製品とそのデプロイメントについて扱った最新のドキュメンテーションにアクセスできます。PDF 版またはインストール可能な HTML ライブラリのダウンロードが可能です。 一部のガイドは SAP サービス マーケットプレイスに格納されており、SAP ヘルプ ポータルからは入手できません。ヘルプ ポータルのガイド一覧で、そのようなガイドには SAP サービス マーケットプレイスへのリンクが付いています。メンテナンス契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。

情報リソース	場所
SAP サービス マーケットプレイス	http://service.sap.com/bosap-support > ドキュメンテーション ・ インストール ガイド：https://service.sap.com/bosap-instguides ・ リリース ノート：http://service.sap.com/releasenotes SAP サービス マーケットプレイスには、一部のインストール ガイド、アップグレードおよび移行ガイド、デプロイメント ガイド、リリース ノート、サポート対象プラットフォームに関するドキュメントが格納されています。メンテナンス契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマー サポート担当者までお問い合わせください。SAP ヘルプ ポータルから SAP サービス マーケットプレイスにリダイレクトされた場合は、左側のナビゲーション ペインのメニューを使用して、アクセスするドキュメンテーションが含まれているカテゴリを探します。
開発者向けリソース	https://boc.sdn.sap.com/ https://www.sdn.sap.com/irj/sdn/businessobjects-sdklibrary
SAP Community Network 上の SAP BusinessObjects に関する記事	https://www.sdn.sap.com/irj/boc/businessobjects-articles これらの記事は、以前はテクニカル ペーパーという名称でした。
ノート	https://service.sap.com/notes これらのノートは、以前はナレッジ ベース記事という名称でした。

情報リソース	場所
SAP Community Network 上のフォーラム	https://www.sdn.sap.com/irj/scn/forums
トレーニング	http://www.sap.com/services/education 伝統的な教室での学習から的を絞った e ラーニング セミナーまで、それぞれのニーズと希望する学習スタイルに応じた幅広いトレーニング パッケージを提供しております。
オンライン カスタマー サポート	http://service.sap.com/bosap-support SAP サポート ポータルには、カスタマー サポート プログラムとサービスに関する情報が含まれています。また、さまざまなテクニカル情報およびダウンロードへのリンクも用意されています。メンテナンス契約を締結されたお客様には、このサイトにアクセスするための正規ユーザー ID が付与されます。ID の入手方法については、お客様担当のカスタマーサポート担当者までお問い合わせください。
コンサルティング	http://www.sap.com/services/bysubject/businessobjectsconsulting コンサルタントは、初期の分析段階からデプロイメント プロジェクトの実現まで一貫したサポートを提供します。リレーショナル データベースと多次元データベース、接続、データベース設計ツール、カスタマイズされた埋め込みテクノロジなどのトピックに関する専門的なサポートを行います。